



君の世界に芽生えるものは

くおんじゅく

久遠塾

vol. 40



久遠塾スタッフ



しばさわ ひろむ
柴澤 大夢

久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00~21:00
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com

全国各地から白糖高校へ出願可能

白糖高校では、令和5年度（2023年）の入学選抜より、全国各地からの出願を受け入れることになりました。同校では、環境や再生可能エネルギーなど、世界の先進課題解決に向けた学習を行います。

白糖町は人口減少・高齢化が著しいことから、高校生を道外（町外）から受け入れることは、町の活性化に向けた起爆剤として、大きな期待



白糖高校のホームページ

が寄せられます。また、そうした生徒たちが暮らす寮は、町が全面的に支援して下さる予定です。久遠塾も、全国に向けた同校の魅力発信などを支援していきたいと思えます。

詳しくは、白糖高校ホームページの「全国募集について http://www.shiranuka.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=18）をご覧ください。

白糖町滞在を振り返って



白糖高等学校魅力化プロジェクト「東京大学体験活動プログラム」の一環として、久遠塾と一緒に活動してきた伊藤太陽さんからのメッセージを掲載します。



いとう たいよう
伊藤 太陽

初めまして。8月21日から9月11日までの3週間、久遠塾でお世話になった東京大学経済学部3年の伊藤太陽です。

道外の方が北海道と聞いて思い浮かべるのは、カニやホタテなどの海の幸、ジンギスカンや牛乳、チーズなど。あとは広大で豊かな自然、夏は涼しくて快適といったところでしょうか。自分も同じようなイメージを北海道に持っていました。

実際に北海道（白糖町）へ来てみて、そのイメージと違う体験をすることができました。おいしいサクとイクラ、ジンギスカン、チーズを食べ、タンチョウやキタキツネを見かけ、滞在を満喫することができました。今思えば、先に挙げた北海道のイメージはいろいろな地域のものが混ざっていますね。気候についても札幌はそんなに涼しくない一方、白糖町では夏は大変すごしやすいなど、道内でもいろいろな気候があることを初めて知りました。さて、肝心の久遠塾での活動です



9月8日「白糖に伝えたい!!」と題して講演した伊藤さん

が生徒の質問に答えたり、一緒に問題を考えたりしました。毎日欠かさずに久遠塾に来る生徒、熱心に勉強をしている生徒がいることが印象的でした。加えて、掘削技術専門学校の見学をしたり、ホタテの増養殖に向けた実証試験をしている小倉さんや全国的に有名な羊飼いの酒井さんからお話を伺ったりしたことを、9月8日に白糖高校で発表しました。今回の滞在中白糖町のさまざまな魅力から、今後の日本の地域経済の在り方や自分の生き方について考えることができました。たくさん刺激をいただいた白糖町や久遠塾には、本当に感謝しています。ありがとうございました。